

第2回小金井市新型インフルエンザ等対策本部会議録	日 時	令和2年4月23日(木) 19:00~20:00	場 所	第一会議室 議場
出席本部長	(第一会議室) 西岡市長、大橋小金井消防署長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、大津学校教育部長、宮奈地域安全課長、石原健康課長(議場) 住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、後藤公共施設マネジメント推進担当課長			
本部長の求めによる出席者	穂坂小金井市医師会会長、山崎小金井市医師会副会長、田中小金井歯科医師会会長、田中小金井市環病師会副会長、小澤多摩府中保健所企画調整課長			
事務局	穂山地域安全係長、神田広報係長、近藤健康課主査			
付議事項	1 市の取組 2 関係機関の取組等 3 その他 4 本部長まとめ			
資料	次第、市の取組、別紙(令和2年4月22日18時30分時点)、第1回小金井市新型インフルエンザ等対策本部会議録、第20回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録			
<p>1 開会挨拶</p> <p>5/6までコロナの感染拡大を防ぐため、不要不急の外出を避け、市民は、前例のない生活をしている。不眠不休で感染拡大を防止している方々に感謝を申し上げる。また、保健所、3師会も市民を守るためにご尽力をいただいている次第である。本日の会議も感染防止のため2か所で実施している。市役所としては、4月13日より、2交代または、3交代で感染拡大の防止をしながら業務を継続している。また、各窓口には、飛沫感染防止のため、ビニールを下げている。さらに国・都の緊急対策に対し、緊急基本方針の作成を行っている。本日6:15からの都知事の会見では、4月25日から5月5日までをステイホーム週間とし、これを方針としている。小金井市としても感染拡大防止、市民や事業者への支援、医師会等の皆様との連携を行っていきたい。</p> <p>2 出席者紹介</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 市の取組(別紙資料参照)</p> <p>(2) 関係機関の取組</p> <p>・小金井消防署 消防署では、引き続き、救急隊の感染防止策を徹底する。(感染防止着、N95マスク、ゴーグル、フェイスボールド手袋の完全装着や患者搬送後の救急車内の完全消毒) 市民の期待に応えたい。 救急件数は、小金井市に限らず1月から1割程度減少している。住民の方々が外出を控えているので屋外事故がないのと、手洗いの徹底でインフルエンザの患者も減っている。 消防署の勤務については、東京消防庁で統一したもので、災害現場に出動する24時間交代制勤務は、通勤どおりだが、日勤業務(火災予防、総務、経理)は、先週から在宅勤務と2班になっている。</p> <p>・多摩府中保健所 資料については、昨日の都内の発生状況である。20~50代が多く、男女比は、差がない。3月末~4月に患者数が伸びている。多摩府中管内も同じ傾向である。</p> <p>・小金井市医師会 都の医師会会長より、現在都内には、PCRセンターが区部に6か所、多摩地区に2か所が予定されており、将来的には、47か所の地区医師会でできればと提案があった。 〇〇の敷地内に発熱外来、PCRセンターを府中、国分寺、国立、小金井の4市で運営する計画がある。発熱外来を通じてPCR検査の適応を決め、検査する。入院が必要な場合は〇〇の新型コロナ外来で診察し検査などを行う。PCR検査陽性者はホテルなどに収容し、医師会の医師や看護師により経過観察する。この部分には〇〇は関与しないが悪化例は〇〇が受け入れる。症状が軽くなったらホテルに送る。北多摩南部地区には、基幹病院と中小病院との間の規模の病院がなく中等症を受け入れる病院がないため検査の結果待ちだが自宅待機できない場合は一部△△のベッドを利用している。××におちついた患者さんを〇〇から転院することも検討されている。</p> <p>(多摩府中保健所) 保健所としても、必要な調整を図りたい。 (市長) 小金井市も小金井市医師会、保健所と連携することで地域医療の崩壊も防げるので小金井市として尽力したい。</p>				

・歯科医師会

厚労省から診療はできるだけ継続してほしいが、緊急措置が優先となっている。現在患者数は、通常の半分である。歯科医師は、日ごろから感染に気をつけてはいるが、現在防御をするためのフェイスシールド、グローブ、マスクが不足している。

また、感染拡大防止の意味から歯科医師会の会議は、リモート会議にしている。

・薬剤師会

小金井市のHPに提言のページを作っていたいただいている。第1弾が家庭でもできる消毒薬の調整法、第2弾が医師会との連携で待合室での感染防止のため、FAXの処方箋を用いて薬をとりに行くことができるという内容である。

会では、アルコール消毒と検温を徹底している。

今後都から高濃度アルコールが医師会分とともに配布される。高濃度アルコールは蒸留水で薄めて使用する。薬剤師会と医師会で600リットルだが、薬剤師会分は歯科医師会や他団体にも配布する考えなので健康課長と相談して配布先を決めたい。

FAX処方箋については、慢性疾患の場合は良いが、新規の方については、保険証の確認等のこともあり、難しい。(医師会も同様の意見)

(3)その他

(福祉保健部長) 特別定額給付金について

国民一人当たり10万円。基準日は、今年度4月27日に住民基本台帳に記載されている方が対象。4月30日に補正予算が成立し、事前準備を各自自治体が現在行っているが、早い自治体でも支給は、5月10日となる。小金井市にも多くの問合せがきているが、詳細が決まっていないため、本部事務局で精査している。

(総務部長)

市は、4月13日から段階的に交代制勤務を行っている。全てを2交代にしたいが、繁忙期の課は、執務室を別にしたり、また3交代のところもある。

窓口には、ビニールを下げる作業を先週行った。防災無線は、午後5時から午前10時半に変更し、内容も簡単にインパクトのあるものとした。なお、時間は市境の住民のことも考え、近隣市と重ならないようにしている。

また消毒は、カウンター等毎日行っている。窓口に下げたビニールシートも毎日拭いている。

(健康課長)

市の取組13の感染症指定医療機関への防護服の提供については、災害協定を結んでいる武蔵野日赤に120着のうち、60着を提供した。

(市長)

都立公園に大勢の来訪者があることを心配する市民から多くの意見があったため、先日午後1時に西部緑地事務所に電話で正式に対処するよう申し入れをした。本日の都知事の会見で全ての都立公園の駐車場の閉鎖と遊具の使用禁止を今週の土曜日朝から実施されることとなった。

(教育長)

5月7日以降の学校をどうするか、校長会と話し合いをしている。来週月曜日に再度会議を開き、4月30日には、決定したい。第3期の学校閉鎖をすると夏休みを全部つぶしてもカリキュラムを終わらせることができない。

4 本部長まとめ

様々な情報提供や情報共有に感謝する。苦難を乗り越える状況の中でこれからも皆様と連携をおこなっていききたい。また5月6日までのステイホーム週間については、市民や事業者の皆様にご協力していただいたので我々も努力していく次第である。また第3回の会議を適切な時期に行いたい。

以上で終了